

令和3年12月21日

防衛省 北関東防衛局長 扇谷 治 殿

鉾田市議会議員 岩間 勝栄

百里基地における戦闘機訓練の実施に関する要請書

航空自衛隊百里基地におかれましては、首都圏防空の重要基地として、日夜その任務に当たられ深く敬意を表するところであります。

現下、日本を取り巻く安全保障環境は近隣国の軍事的脅威が顕在化するなど、これまで以上に厳しさが増しております。岸田首相は今後防衛力を抜本的に強化すると表明し、今後はこれまで以上に防衛力のあり方について国民的な議論が重要となると思われます。

このような中、11月30日に発生した米軍三沢基地所属の戦闘機が青森空港に緊急着陸する際に、燃料タンク2個を地上に投機するという重大な事故が発生いたしました。

また、12月8日には航空自衛隊三沢基地所属の戦闘機が訓練中に機体の不具合が発生し函館空港に緊急着陸するなど、戦闘機によるトラブルに関する報道が相次ぎました。

防衛省が12月1日に公表した米軍再編に係る訓練移転に関する訓練計画概要によると、米軍と航空自衛隊の戦闘機戦闘訓練が実施されるとありました。

戦闘機のトラブルが相次いだことにより、基地周辺住民のみならず市内全域において戦闘機の飛行ルートとなった本市住民にとっては今回の共同訓練、また、日常の戦闘機の飛行にとっても不安を感じております。

つきましては、百里基地における戦闘機訓練の実施に関し下記のとおり要望いたしますので、地元の実情をご理解いただき、住民の不安解消に向けて特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 上記記述の事故を厳粛に受け止め、戦闘機などの整備運用面での安全の確保や厳正な規律の保持を徹底するよう米軍に申し入れをするとともに、航空自衛隊においても同様な安全対策の徹底を図ること。
2. 「米軍再編に係る百里基地への訓練移転に関する協定書」（平成19年1月17日）を踏まえ、引き続き共同訓練実施の際は騒音対策や安全対策に万全を期すこと。

以上